

耐震・エコ住宅

SE構法の住宅は耐震性に絶対の自信があります。
(今なら建築中の建物を見学可能)
毎週土曜に無料相談会をやっています。

勝建設株式会社

045-362-5530
http://www.katsukop.co.jp



瀬谷区版は毎週木曜日発行です

全日本製造業
コマ大戦

五光発條が3度目の挑戦

ものづくりの矜持ぶつける



回し手の岩佐さん(右)と同じ生産部の樋口博亮さん

中小製造業が自社の誇りを一つのコマにこめる全日本製造業コマ大戦。3回目を数える全国大会出場をかけた南関東予選が1月29、30日に埼玉県で行われ、瀬谷区から五光発條(株)(五貫目町・村井秀敏社長)が出場する。

子どもの頃に一度は遊んだことがあるであろう「ペーゴマ」のような「喧嘩ゴマ」が原点。苦境が続く製造業を盛り上げようと、横浜市の中小製造業の経営者集団「心技隊」が約2年前に企画したことが始まり。直径20mm以下、一円玉より小さいコマを設計し、切削加工を行う旋盤という機械で作

製する。下請けとして日本を支えてきた製造業者たちは、技術と設備を持っていても自社製品を作る機会がなかった。「コマという自社の看板を背負う製品を作ることがモチベーション向上に繋がる」と、五光発條(株)生産部でコマの回し手を務める岩佐勇さん。同社は精密ばねに特化して創業した。自動車やゲームのコントローラーなど、さまざまな駆動源として使われるばねを製造、通信販売するほか、昨年からばねのブロック「SP Link」を販売している。村井社長が心技隊の

メンバーだったことが参加のきっかけ。昨年末に16チームが参加した別の大会で準優勝に輝き、悲願の初優勝を目標に掲げる。

最新の旋盤を所持する精密会社などが多く参加する中、同社の旋盤はばねを作る部品加工で使うのみ、「手作業なので誤差が生まれやすいが、コマへの愛着は人一倍ある」と岩佐さんは話す。通常業務の合間を縫って作製し、1つのコマを作るのに2、3日かかる。試行錯誤を重ねながら作ったコマはこれまでに約100個。同社のコマの特徴は、材質に重い金属のタンクステンを使い、先端にはベアリングを入れ、持久戦に持ち込むといったもの。

大会はトーナメント方式で、勝敗はどちらかが2回連続で勝つまで。負けたらコマを取られるシビアな戦いだ。1都4県が集まる大きな大会を前に岩佐さんは、「1つでも多く勝てれば」と話している。

瀬谷区版 No.413 2014年(平成26年) 1月23日(木)号